

平成21年第4回景況調査の結果について

平成21年12月
農水商工部

平成21年第4回景況調査結果について

2009年12月 8日
三重県農水商工部
(財)三重県産業支援センター

Ⅰ 調査要領

1. 調査時点：2009年11月（下旬）
2. 調査対象：県内全域の企業1,000社
3. 調査方法：FAXによるアンケート調査
4. 回答状況：342社（有効回答率 34.2%）
5. 調査企業の産業、従業員規模数、地域別（県民センター別）内訳

【産業別】

	建設業	製造業	運輸・ 通信業	卸・ 小売業	金融・ 保険業	サービ ス業	合計
対象企業数	87	289	66	266	22	270	1,000
回答企業数	39	105	31	72	16	79	342
構成比 (%)	11.4	30.7	9.1	21.1	4.7	23.1	100.0

【従業員規模別】

	～5人	6～ 20人	21～ 50人	51～ 100人	101～ 300人	301～ 500人	501～ 1000人	1001 人～	合計
対象企業数	137	317	234	82	132	36	38	24	1,000
回答企業数	17	102	82	39	53	15	22	12	342
構成比 (%)	5.0	29.8	24.0	11.4	15.5	4.4	6.4	3.5	100.0

【県民センター別】

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	合計
対象企業数	111	224	121	153	115	132	90	29	25	1,000
回答企業数	39	80	39	47	43	48	27	10	9	342
構成比 (%)	11.4	23.4	11.4	13.7	12.6	14.0	7.9	2.9	2.6	100.0

(注) 構成比等 (%) については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

- (注) 桑名県民センター（桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町）
 四日市県民センター（四日市市・菰野町・朝日町・川越町）
 鈴鹿県民センター（鈴鹿市・亀山市）
 津県民センター（津市）
 松阪県民センター（松阪市・多気町・明和町・大台町）
 伊勢県民センター（伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・南伊勢町・度会町・大紀町）
 伊賀県民センター（伊賀市・名張市）
 尾鷲県民センター（尾鷲市・紀北町）
 熊野県民センター（熊野市・御浜町・紀宝町）

※平成21年11月30日現在

景況感D1＝前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

業績D1＝今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

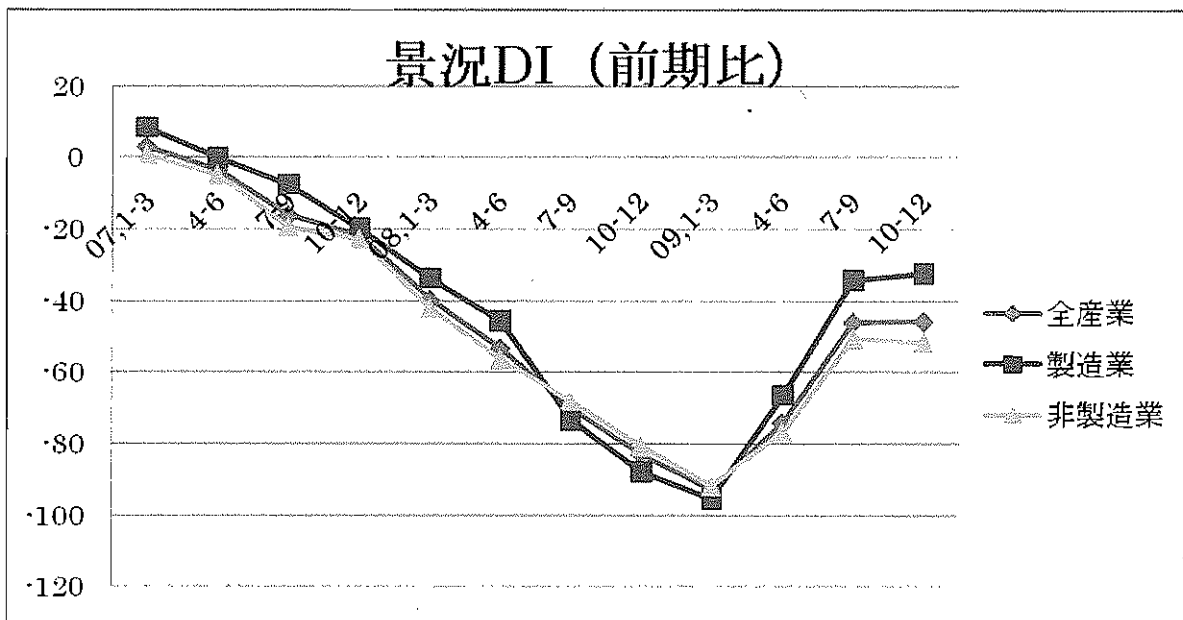
雇用D1＝今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

※ 前期＝2009年7～9月 今期＝2009年10～12月 来期＝2010年1～3月

II 概要 (主な調査項目の結果、推移等)

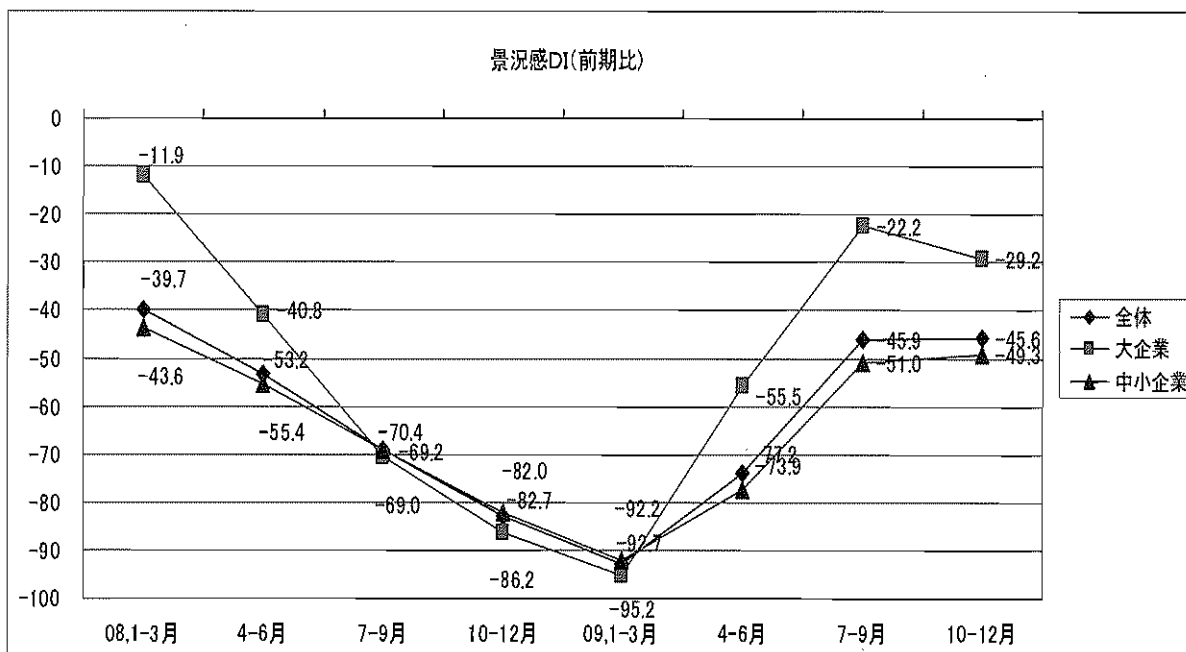
1. 景況感

景況感DI (全産業) はマイナス45.6となり、09年1-3月期のマイナス92.7を底とする改善傾向が続く結果となりましたが、前期 (2009年7-9月期) からは0.3ポイントの小幅改善となりました。



景況感DI = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

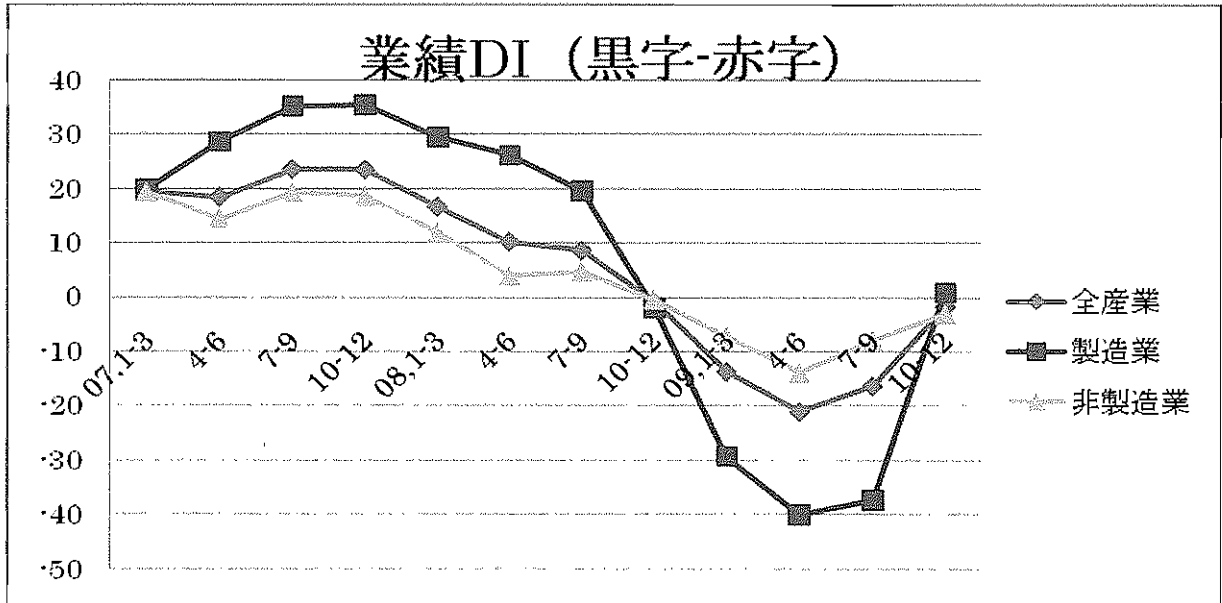
《参考：企業規模別》



※今期 (09年10-12月) 調査分の内訳：大企業65社 (19.0%)、中小企業277社 (81.0%)

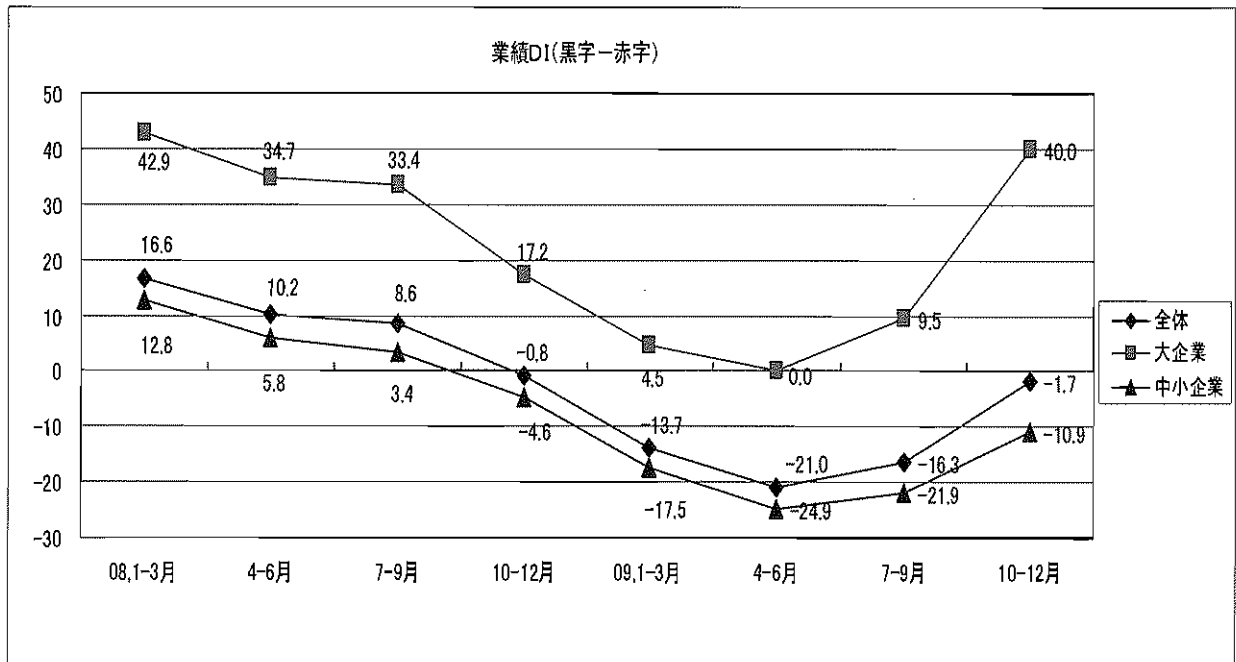
2. 業績

業績DI（全産業）はマイナス1.7となり、前期から14.6ポイントの改善となりました。業種別では、製造業、運輸・通信業、サービス業で改善しています。特に製造業での回復が大きく、マイナスからプラスへの転換がありました。



業績DI = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

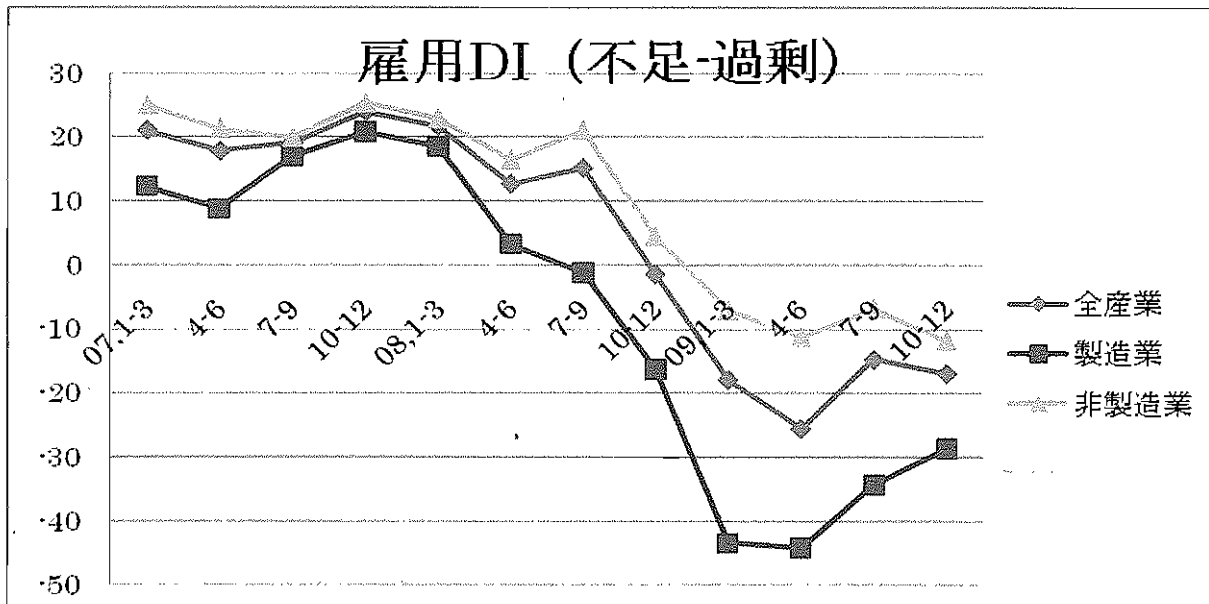
《参考：企業規模別》



※今期（09年10-12月）調査分の内訳：大企業65社（19.0%）、中小企業277社（81.0%）

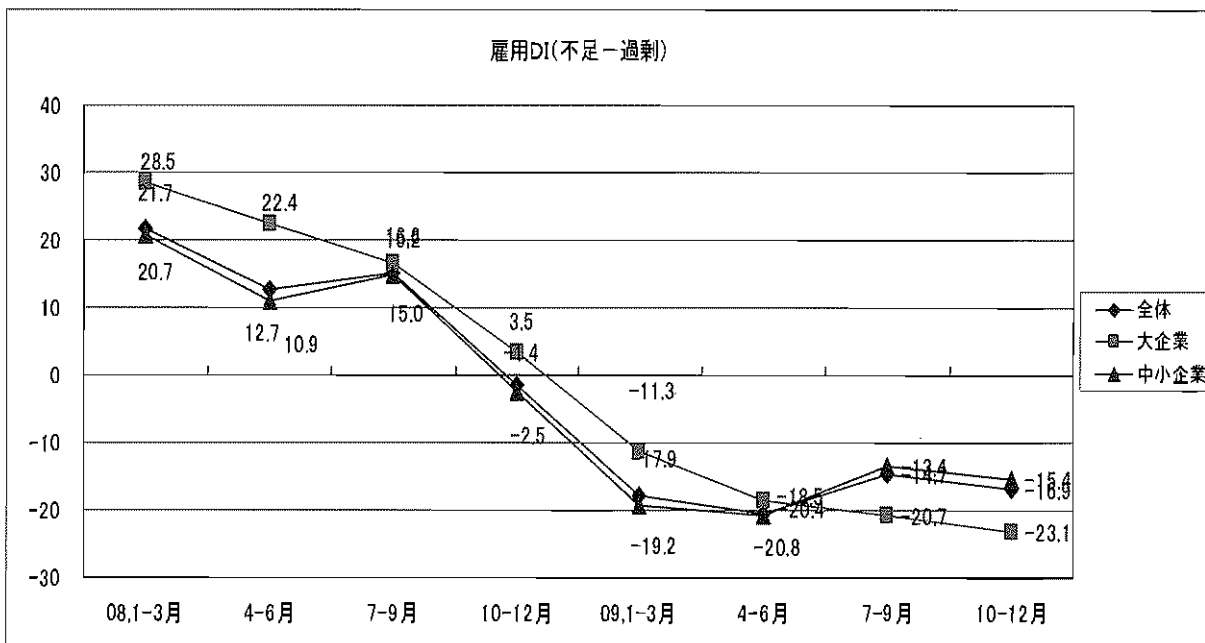
3. 雇用

雇用DI（全産業）はマイナス16.9ポイントとなり、前期から2.2ポイント悪化しました。業種別では、建設業、製造業で過剰感が弱まりましたが、その他の業種で悪化しています。



雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

《参考：企業規模別》



※今期（09年10-12月）調査分の内訳：大企業65社（19.0%）、中小企業277社（81.0%）

Ⅲ 産業別のD I

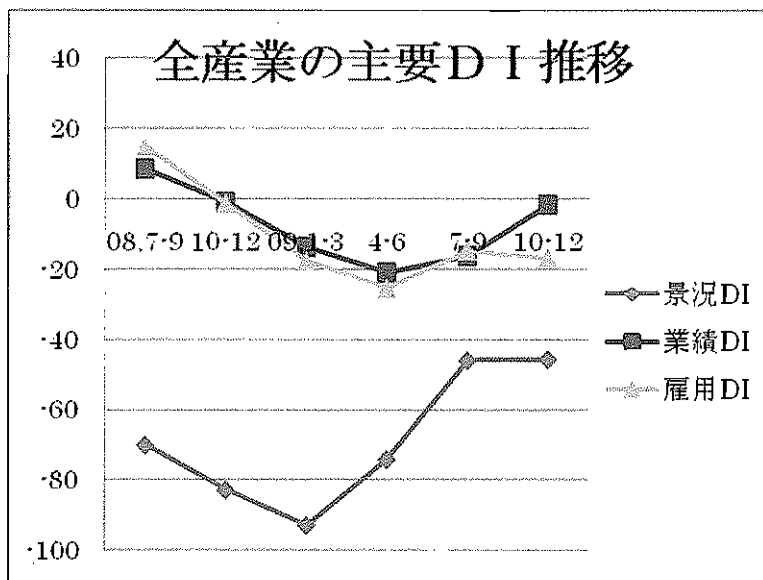
全産業 (回答342社)

マイナスが続くが、景況感、業績は改善。雇用は若干の悪化。

景況感D I (前期比) は前期より0.3ポイント改善して、マイナス45.6ポイントとなりました。

また、業績D Iも前期より14.6ポイント改善して、マイナス1.7ポイントとなりました。

一方、雇用D Iは前期より2.2ポイント悪化して、マイナス16.9ポイントとなりました。



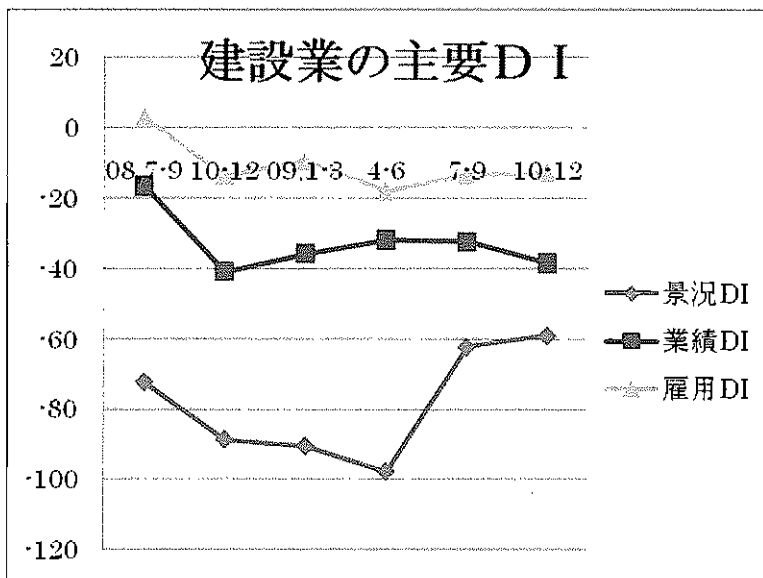
建設業 (回答39社)

景況感、雇用は改善するも、依然としてマイナス。業績は若干の悪化。

景況感D I (前期比) は前期より3.2ポイント改善して、マイナス59ポイントとなりました。

また、雇用D Iも前期より0.7ポイント改善して、マイナス12.8ポイントとなりました。

一方、業績D Iは前期より6.1ポイント悪化して、マイナス38.5ポイントとなりました。



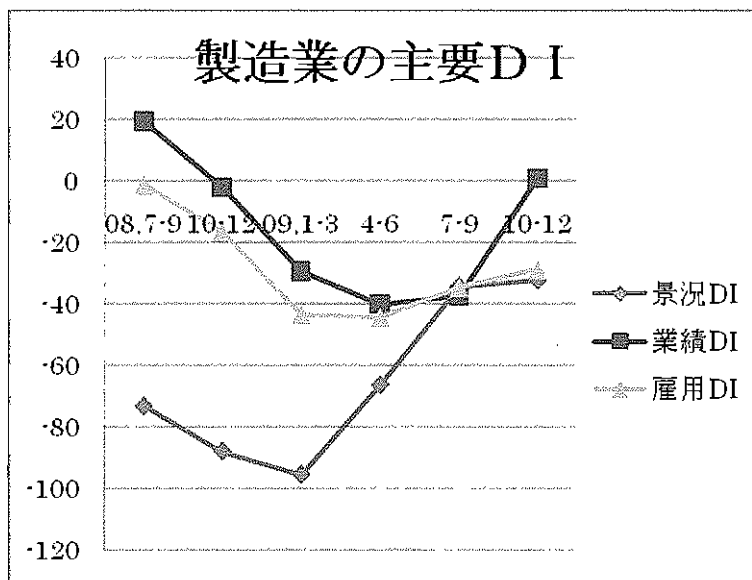
製造業 (回答105社)

景況感、雇用は小幅に改善。業績は大幅に改善し、プラスに転換。

景況感DI (前期比) は前期より2.0ポイント改善して、マイナス32.3ポイントとなりました。

また、雇用DIも前期より5.7ポイント改善して、マイナス28.6ポイントとなりました。

さらに、業績DIは前期より38.2ポイントの大幅改善となり、プラスに転換して0.9ポイントとなりました。



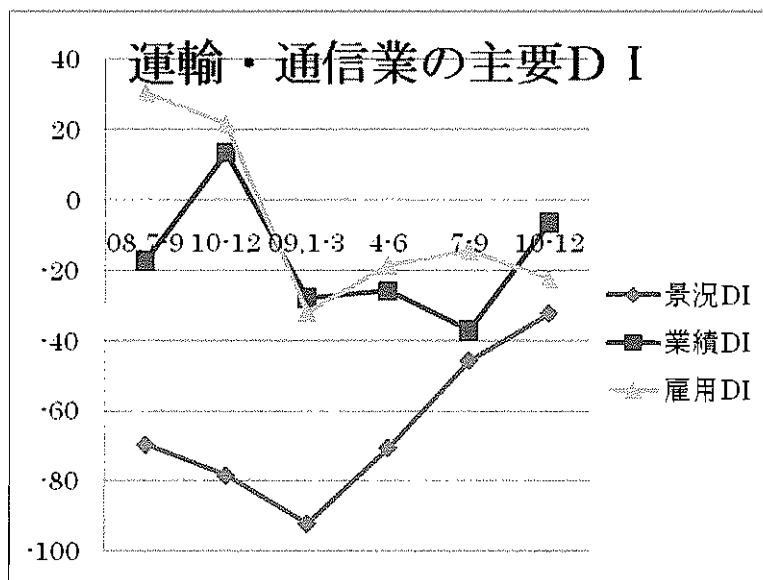
運輸・通信業 (回答31社)

景況感、業績は改善するが、依然としてマイナス。雇用は悪化し、マイナスが続く。

景況感DI (前期比) は前期より13.4ポイント改善して、マイナス32.3ポイントとなりました。

また、業績DIも前期より30.6ポイント改善して、マイナス6.5ポイントとなりました。

一方、雇用DIは前期より8.3ポイント悪化して、マイナス22.6ポイントとなりました。



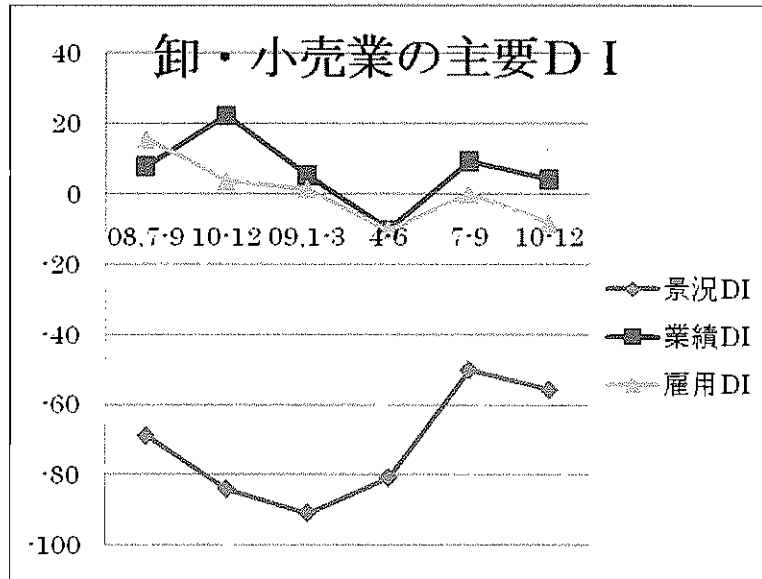
卸・小売業 (回答72社)

業績は悪化するが、プラスは維持。景況感、雇用も悪化する。

景況感DI (前期比) は前期より5.6ポイント悪化して、マイナス55.6ポイントとなりました。

また、雇用DIは前期より8.4ポイント悪化して、マイナス8.4ポイントとなりました。

一方、業績DIは前期より5.1ポイント悪化したものの、プラス4.1ポイントとプラスを維持しています。



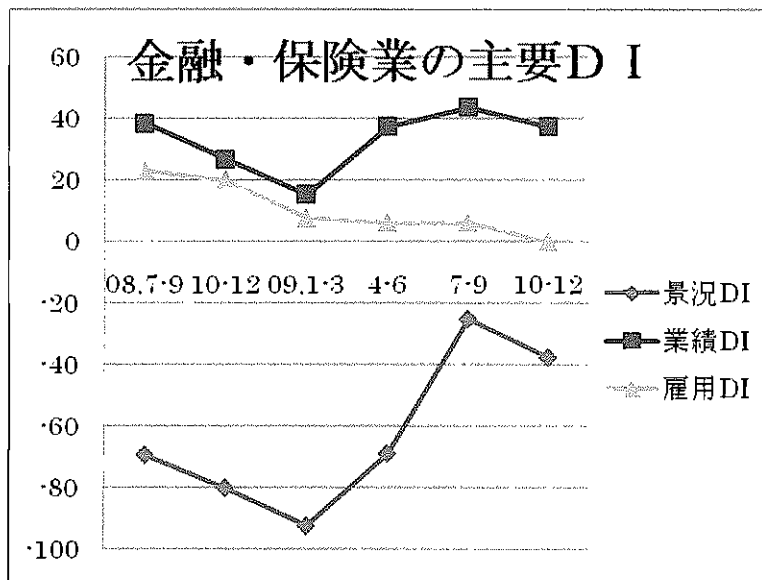
金融・保険業 (回答16社)

業績は悪化するが、引き続きプラスを維持。景況感、雇用も悪化する。

景況感DI (前期比) は前期より12.5ポイント悪化して、マイナス37.5ポイントとなりました。

また、雇用DIは前期より6.2ポイント悪化して、±0となりました。

業績DIは前期より6.2ポイント悪化しましたが、プラス37.5ポイントとプラスを維持しています。



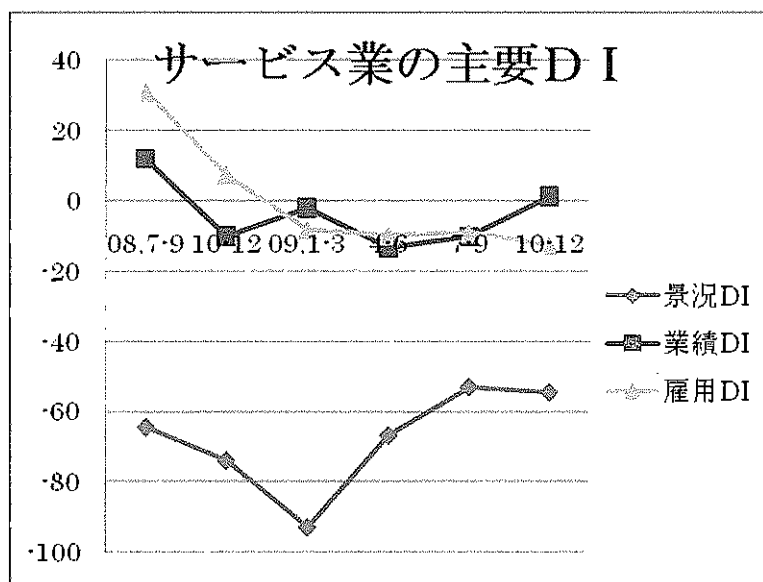
サービス業 (回答79社)

業績は改善が続きプラスに。景況感、雇用は悪化する。

景況感DI (前期比) は前期より1.5ポイント悪化して、マイナス54.4ポイントとなりました。

また、雇用DIは前期より3.6ポイント悪化して、マイナス12.6ポイントとなりました。

一方、業績DIは前期より11.4ポイント改善して1.2ポイントとなり、プラスとなりました。



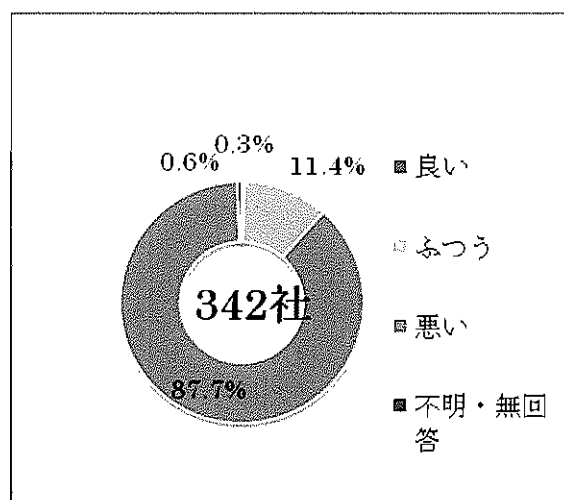
IV 県民センター別の主要DI

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	全体
今期景況感DI	-51.2	-41.2	-23	-44.7	-55.8	-61.2	-37	-55.6	-44.4	-45.6
前期 "	-48.4	-50.6	-51.2	-46.2	-32.5	-41.1	-45.5	-55.6	-44.4	-45.9
今期業績DI	-15.4	12.5	0	19.2	-27.9	-10.3	-14.8	-10.0	0.0	-2.6
前期 "	-18.2	-4.8	-20.9	-9.3	-27.5	-9.8	-45.5	-22.2	-11.1	-16.3
今期雇用DI	-15.4	-22.5	-12.8	-14.9	-4.8	-18.8	-26.9	-30.0	18.2	-16.1
前期 "	-6.0	-16.9	-16.3	-12.9	-20.0	-11.7	-24.3	-11.1	-11.1	-14.7

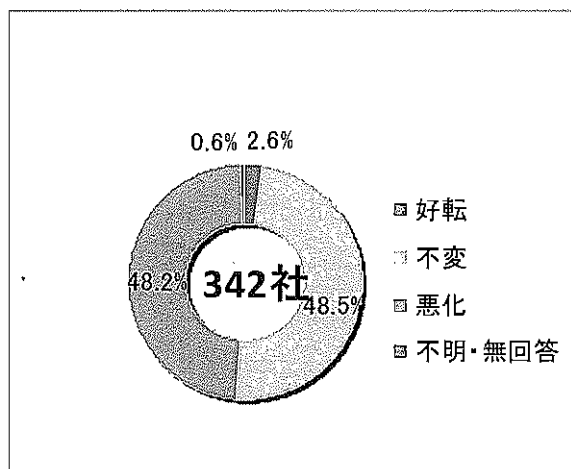
V 全調査項目の結果詳細

1. 景気

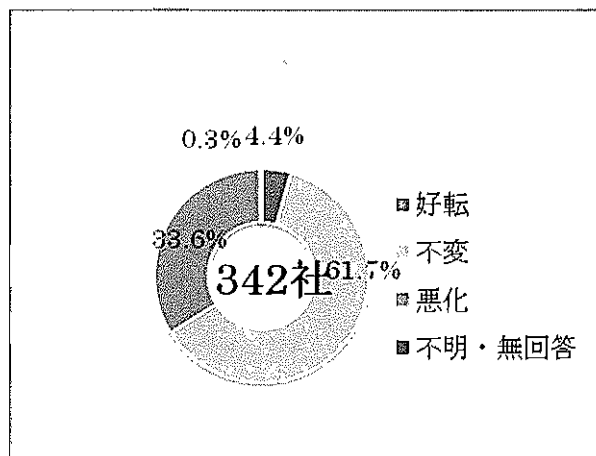
(1) 今期の県内景気については、「良い」0.3% (1社)、「ふつう」11.4% (39社)、「悪い」87.7% (300社) となっています。



(2) 前期と比べた今期の県内景気については、「好転」2.6% (9社)、「不変」48.5% (166社)、「悪化」48.2% (165社)となっています。

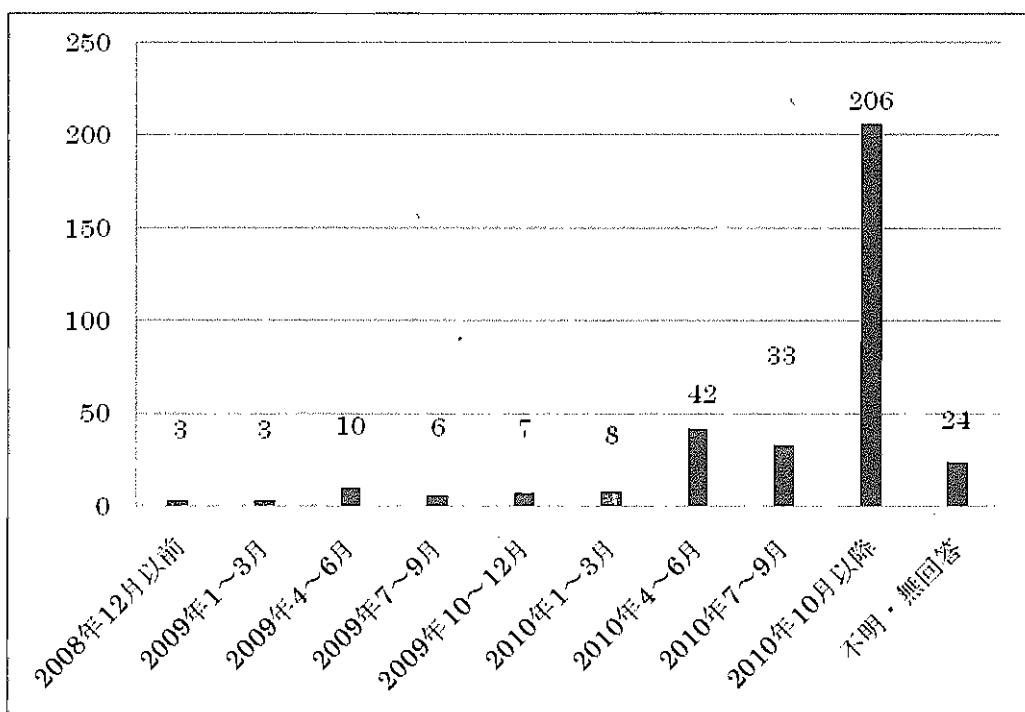


(3) 今期と比べた来期の県内景気については、「好転」4.4% (15社)、「不変」61.7% (211社)、「悪化」33.6% (115社)となっています。



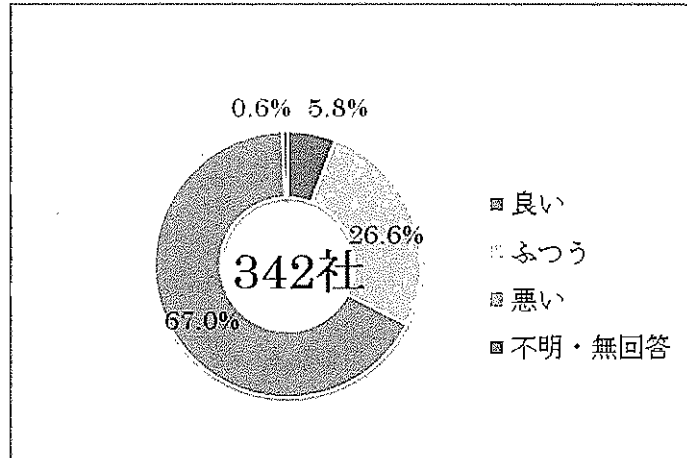
(4) 国内景気の回復時期については、「2010年10月以降」が60.3% (206社)でもっとも多く、次いで「2010年4～6月」が12.3% (42社)、「2010年7～9月」が9.7% (33社)の順となっています。

国内景気の回復時期

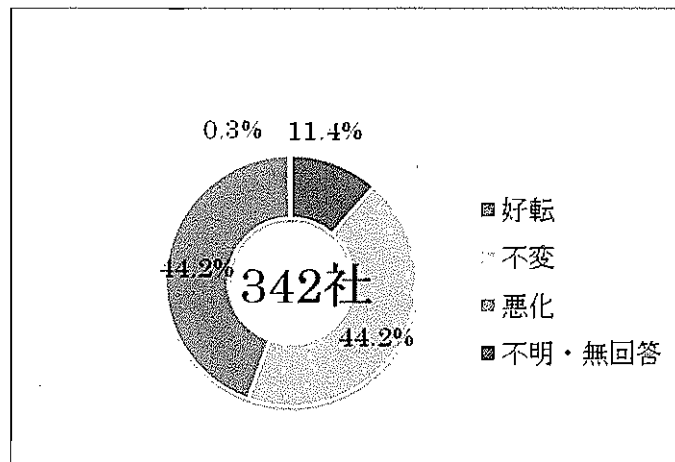


2. 業況

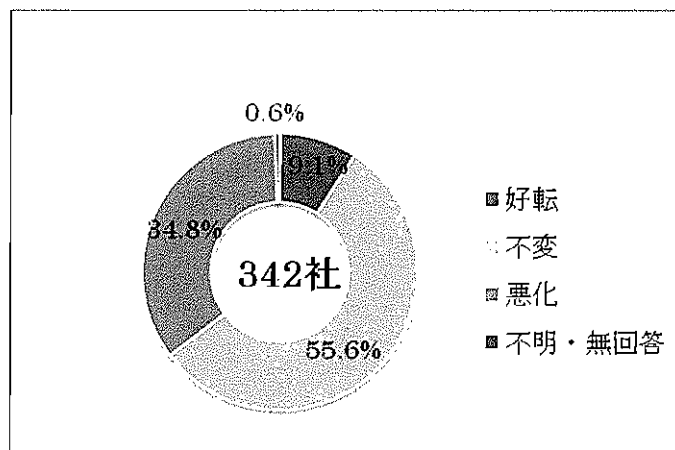
(1) 今期の業況については、「良い」5.8% (20社)、「ふつう」26.6% (91社)、「悪い」67.0% (229社) となっています。



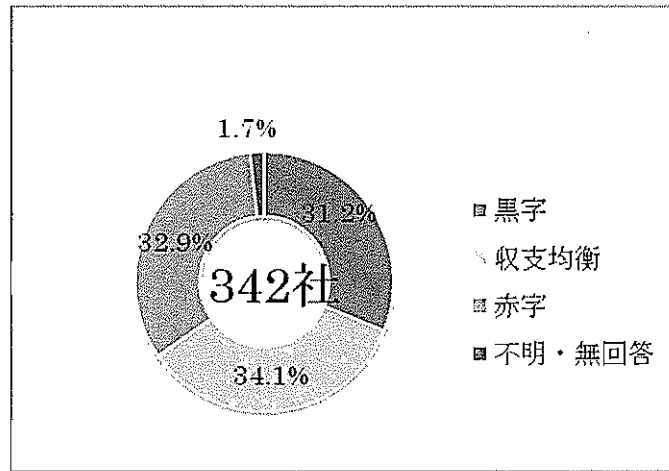
(2) 前期と比べた今期の業況については、「好転」11.4% (39社)、「不変」44.2% (151社)、「悪化」44.2% (151社) となっています。



(3) 今期と比べた来期の業況見込みについては、「好転」9.1% (31社)、「不変」55.6% (190社)、「悪化」34.8% (119社) となっています。

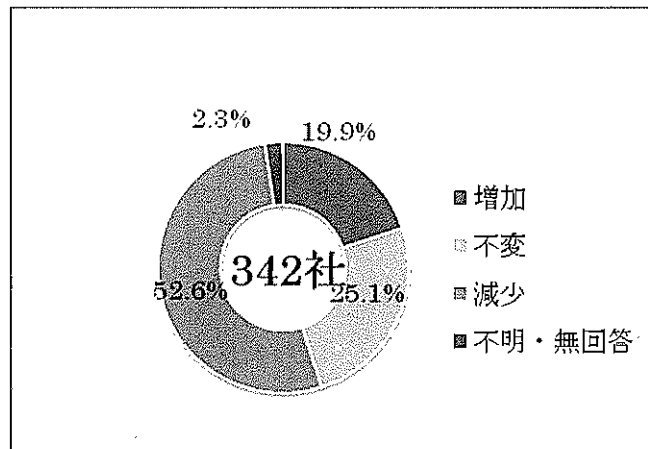


(4) 今期の利益状況については、「黒字」31.2% (107社)、「収支均衡」34.1% (117社)、「赤字」32.9% (113社) となっています。

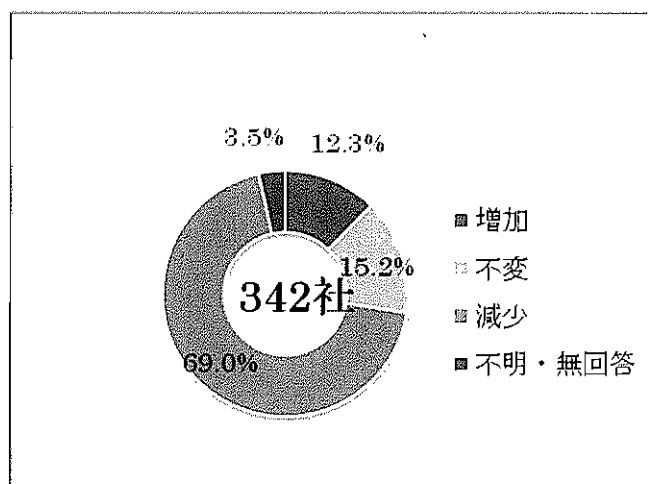


3. 売上高

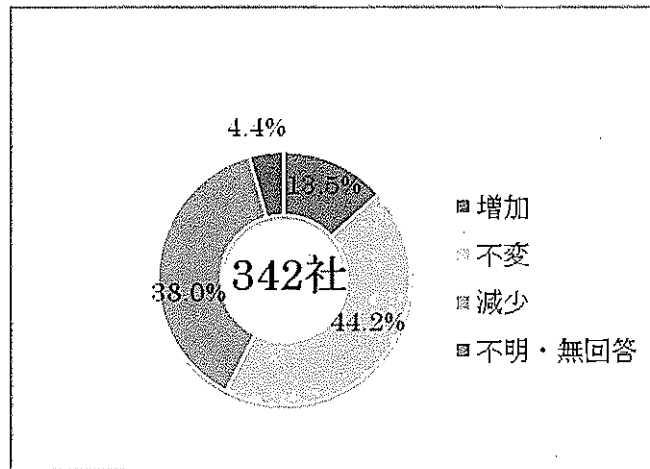
(1) 売上高の前期比較については、「増加」19.9% (68社)、「不変」25.1% (86社)、「減少」52.6% (180社) となっています。



(2) 売上高の前年同期比較については、「増加」12.3% (42社)、「不変」15.2% (52社)、「減少」69.0% (236社) となっています。

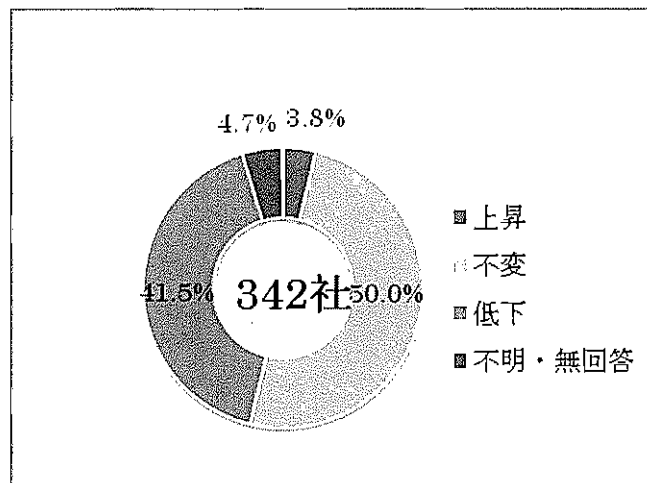


(3) 売上高の来期見込みについては、「増加」13.5% (46社)、「不変」44.2% (151社)、「減少」38.0% (130社) となっています。

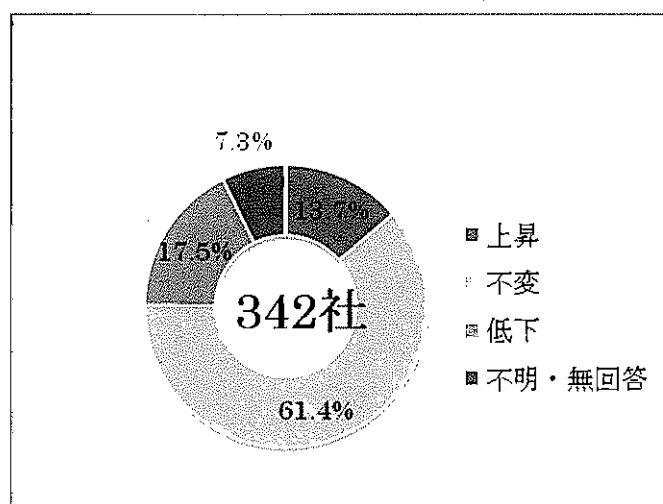


4. 価格

(1) 今期の販売価格・受注単価については、「上昇」3.8% (13社)、「不変」50.0% (171社)、「低下」41.5% (142社) となっています。



(2) 今期の仕入価格 (原材料・商品) については、「上昇」13.7% (47社)、「不変」61.4% (210社)、「低下」17.5% (60社) となっています。

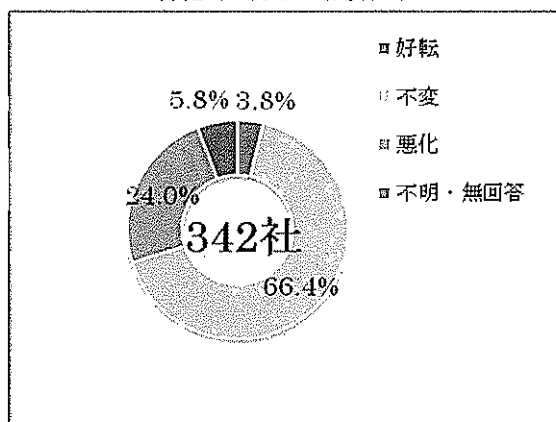


5. 資金繰り

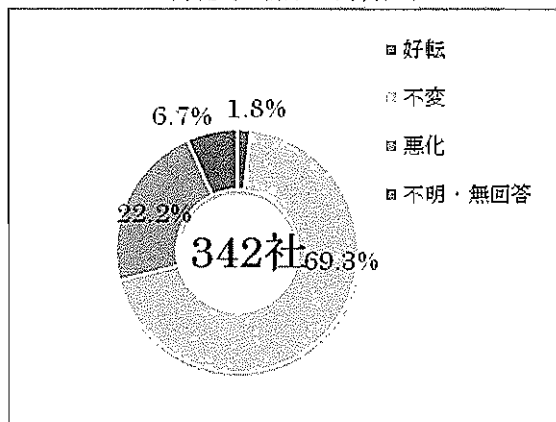
(1) (2) 資金繰りについては、多くの企業 (今期: 66.4% (227社)、来期: 69.3% (237社)) が「不変」としていますが、今期は「好転」が3.8% (13社)、「悪化」が24.0% (82社)、来期は「好転」が1.8% (6社)、「悪

化」が22.2% (76社) と、今期、来期とも「悪化」が「好転」を大幅に上回っています。

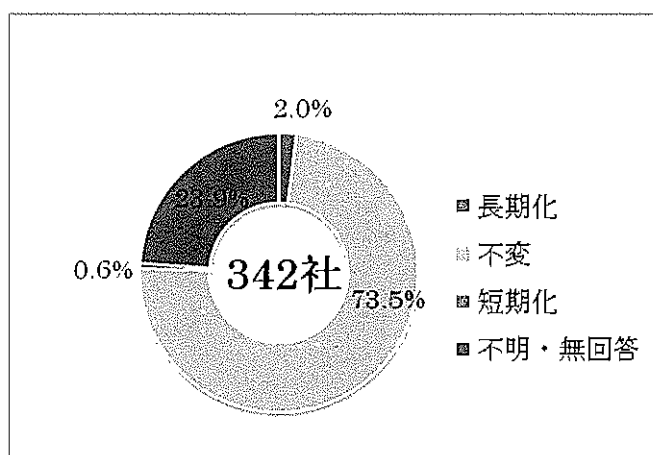
今期資金繰り (前期比)



来期資金繰り (今期比)

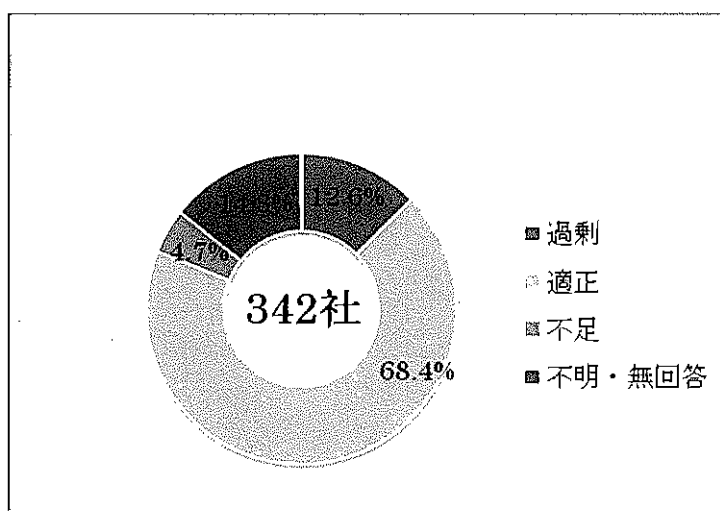


(3) 受取手形の期間は、「長期化」2.0% (7社)、「不変」73.5% (252社)、「短期化」0.6% (2社) となっています。



6. 製品 (商品)・原材料在庫

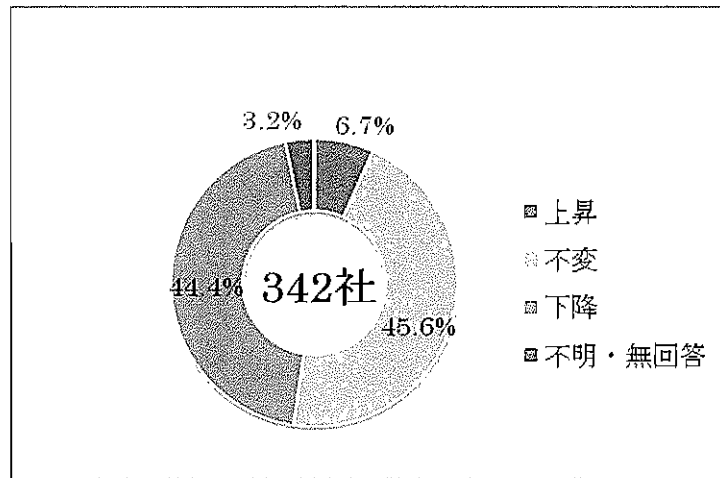
現在の製品在庫状況については、「過剰」12.6% (43社)、「適正」68.4% (234社)、「不足」4.7% (16社) となっています。



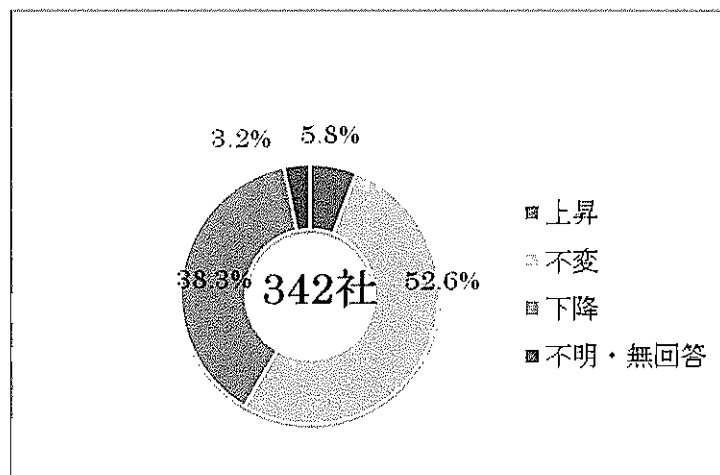
7. 設備投資意欲

〔設備投資意欲〕

(1) 前期と比べた今期の設備投資意欲については、「上昇」6.7% (23社)、「不変」45.6% (156社)、「下降」44.4% (152社) となっています。

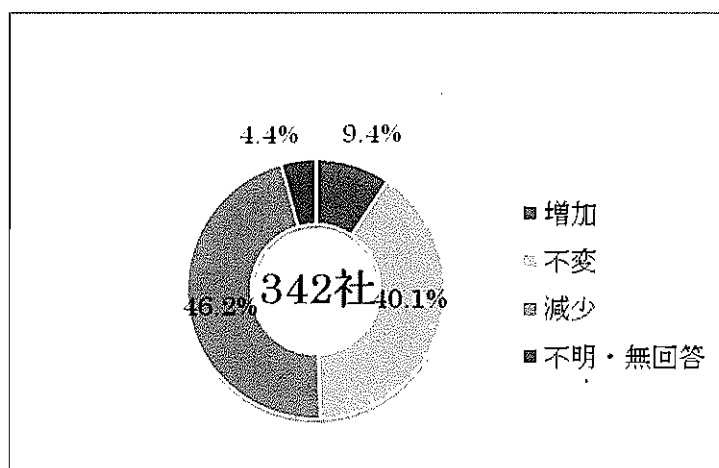


(2) 今期と比べた来期の設備投資意欲は、「上昇」5.8% (20社)、「不変」52.6% (180社)、「下降」38.3% (131社) となっています。

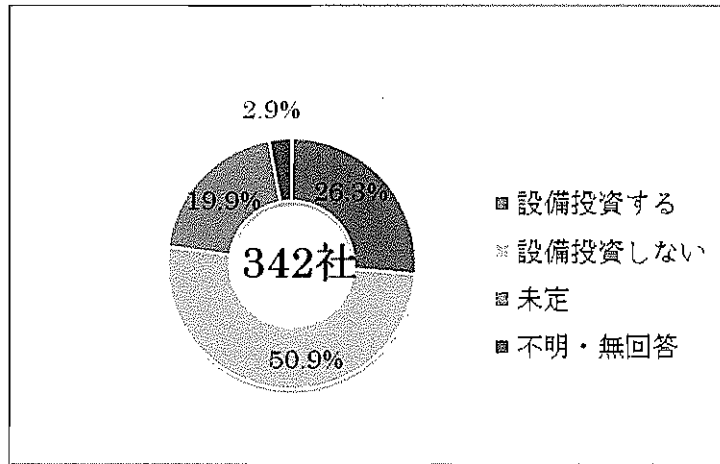


〔設備投資状況〕

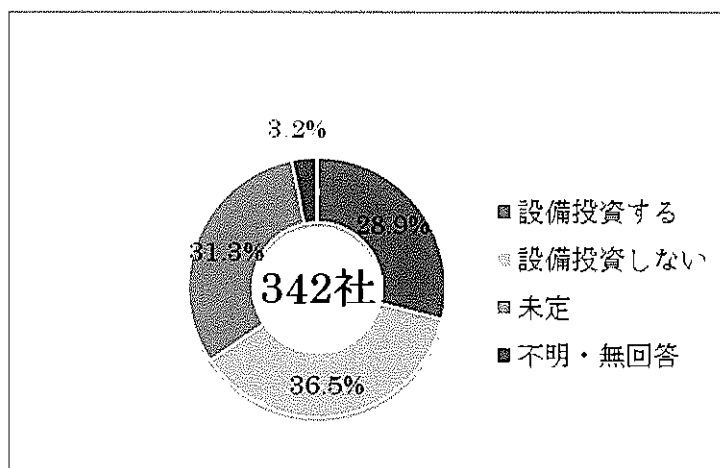
(3) 平成20年度下半期 (2008年10月～2009年3月) と比べた平成21年度下半期 (2009年10月～2010年3月) の設備投資計画額は、「増加」9.4% (32社)、「不変」40.1% (137社)、「減少」46.2% (158社) となっています。



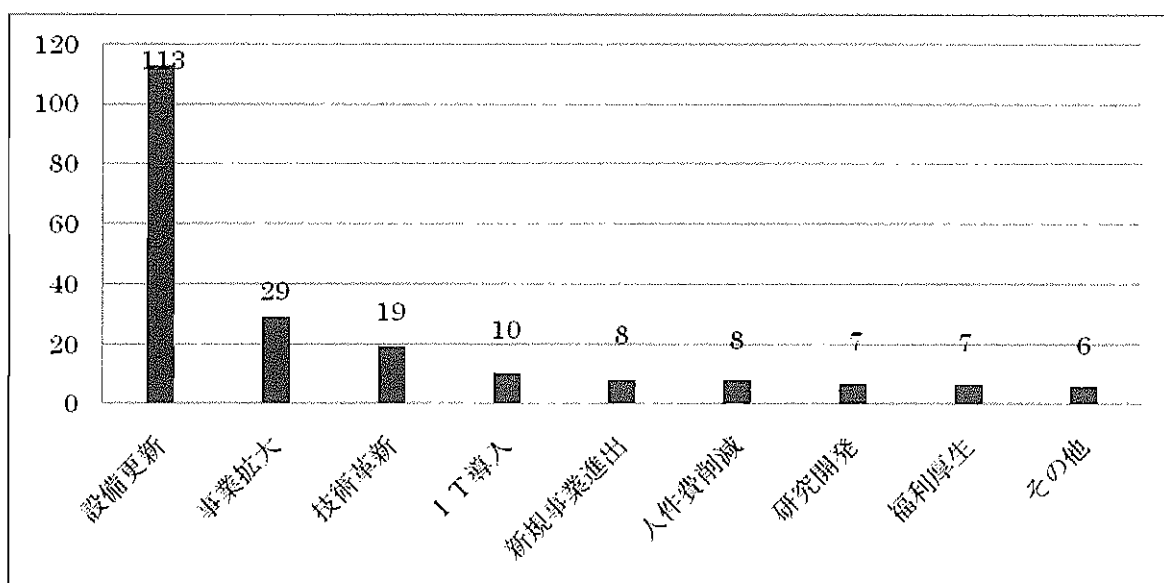
(4) 今期の設備投資予定は、「する」26.3% (90社)、「しない」50.9% (174社)、「未定」19.9% (68社) となっています。



(5) 来期の設備投資予定は、「する」28.9% (99社)、「しない」36.5% (125社)、「未定」31.3% (107社) となっています。



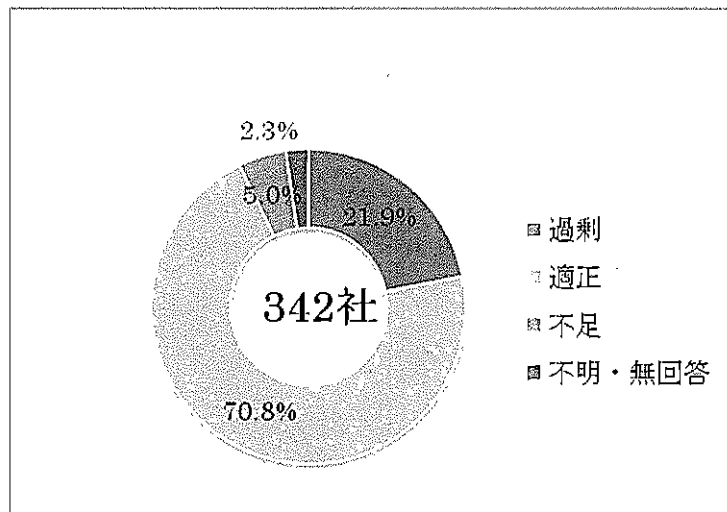
(6) 設備投資の主目的は、回答のあった131社(複数回答可)のうち、「設備更新」86.3% (113社)、「事業拡大」22.2% (29社)、「技術革新」14.6% (19社)の順となっています。



8. 雇用状態

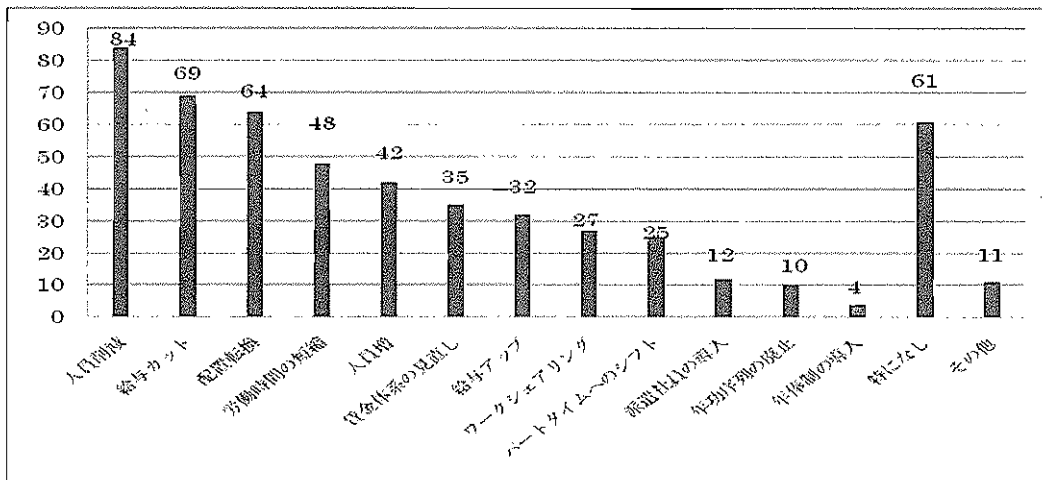
(1) 今期の雇用状態については、「過剰」21.9% (75社)、「適正」70.8% (242社)、「不足」5.0% (17社) とな

っています。



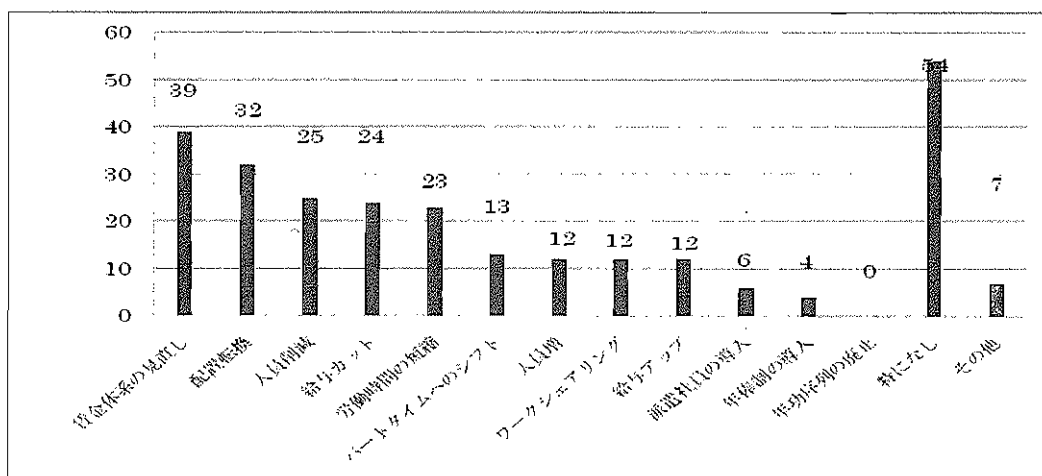
(2) 過去1年に行った雇用問題対策は、有効な回答のあった317社（複数回答可）のうち、「特になし」を除くと「人員削減」26.5%（84社）、「給与カット」21.8%（69社）、「配置転換」20.2%（64社）、「労働時間の短縮」15.2%（48社）の順となっています。

雇用問題対策（過去1年）（複数回答可）



今後行う予定の雇用問題対策は、有効な回答のあった173社（複数回答可）のうち、「特になし」を除くと、「賃金体系の見直し」22.6%（39社）、「配置転換」18.5%（32社）、「人員削減」14.5%（25社）、「賃金カット」13.9%（24社）の順となっています。

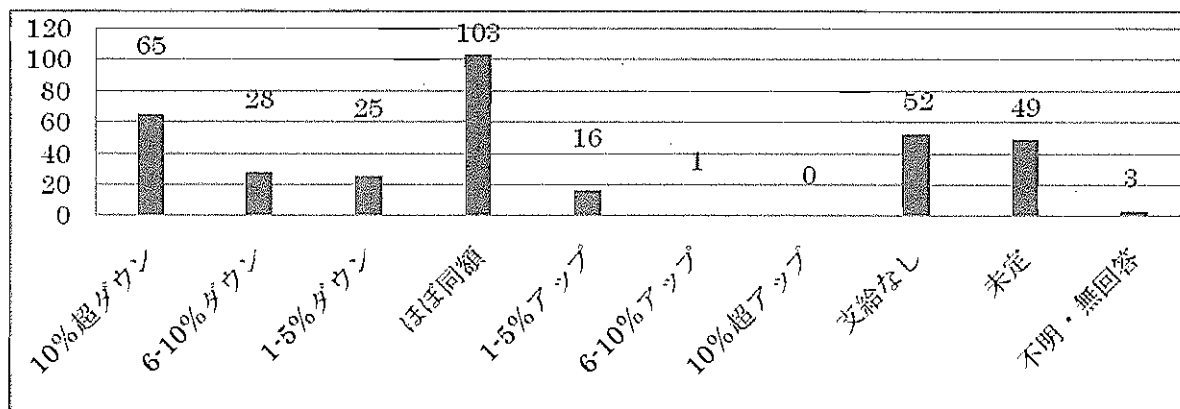
雇用問題対策（今後の予定）（複数回答可）



9. 冬のボーナス

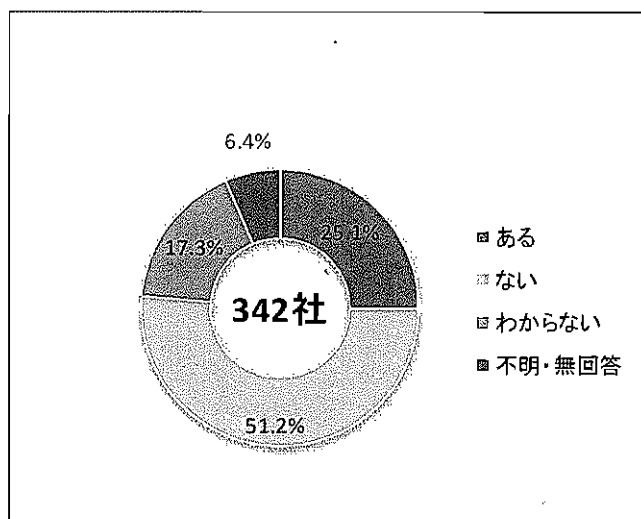
冬のボーナスの支給見込みについては、「ほぼ同額」30.1% (103社)、「10%超ダウン」19.0% (65社)、「支給なし」15.2% (52社)の順となっています。

冬のボーナス支給見込み

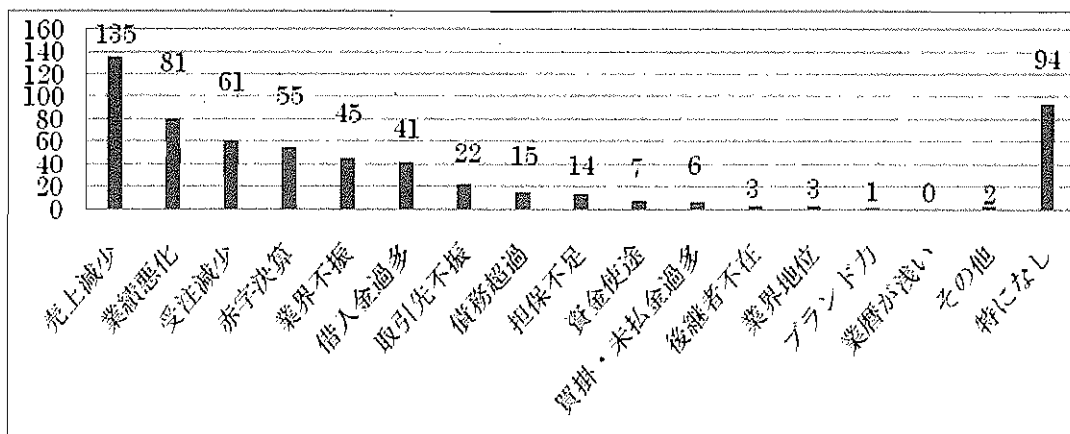


10. 資金調達

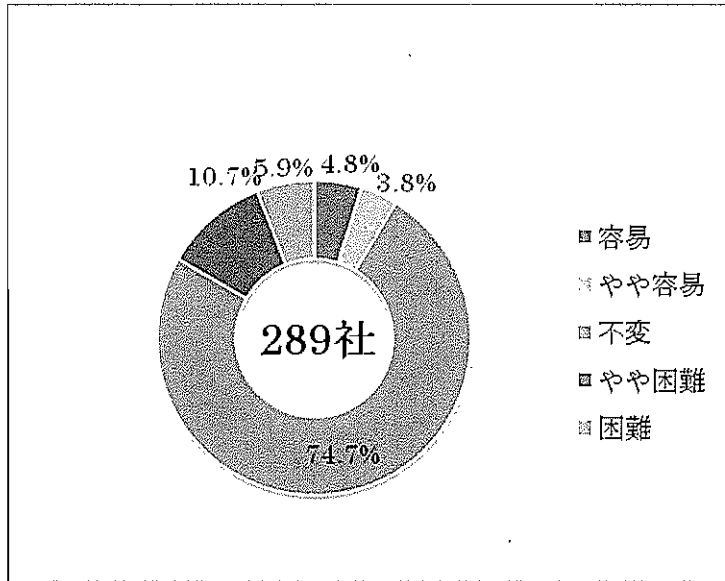
(1) 新規の借入を行う必要については、「ある」25.1% (86社)、「ない」51.2% (175社)となっています。



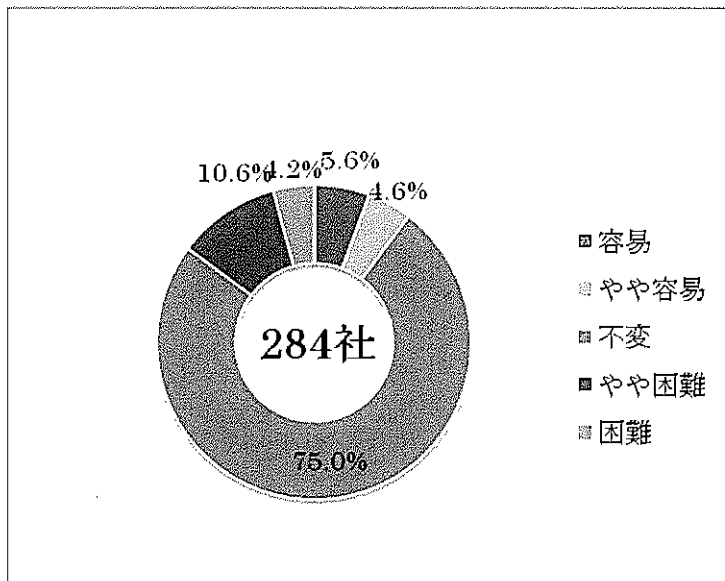
(2) 借入にあたっての問題については、有効回答のあった288社(複数回答可)のうち、「特になし」を除くと「売上減少」46.9% (135社)、「業績悪化」28.2% (81社)、「受注減少」21.2% (61社)の順となっています。



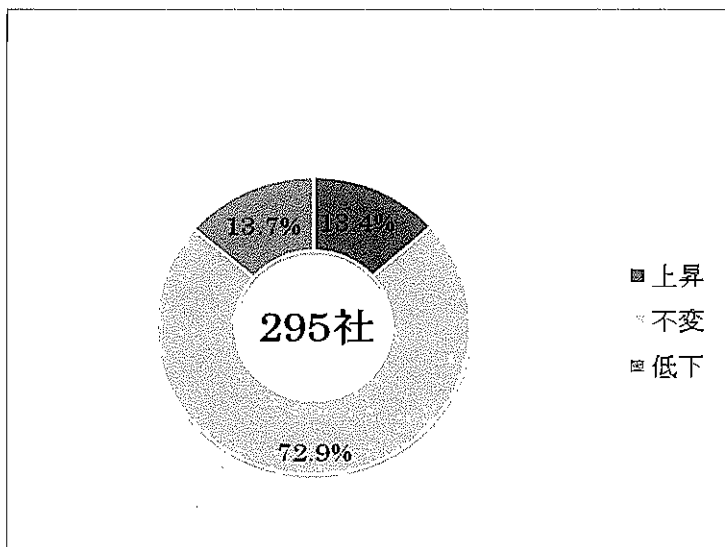
(3) 前期と比べた今期の長期資金借入れ難度は、「容易」4.8% (14社)、「やや容易」3.8% (11社)、「不変」74.7% (216社)、「やや困難」10.7% (31社)、「困難」5.9% (17社)となっています。



(4) 前期と比べた今期の短期資金借り入れ難度は、「容易」5.6% (16社)、「やや容易」4.6% (13社)、「不変」75.0% (213社)、「やや困難」10.6% (30社)、「困難」4.2% (12社) となっています。

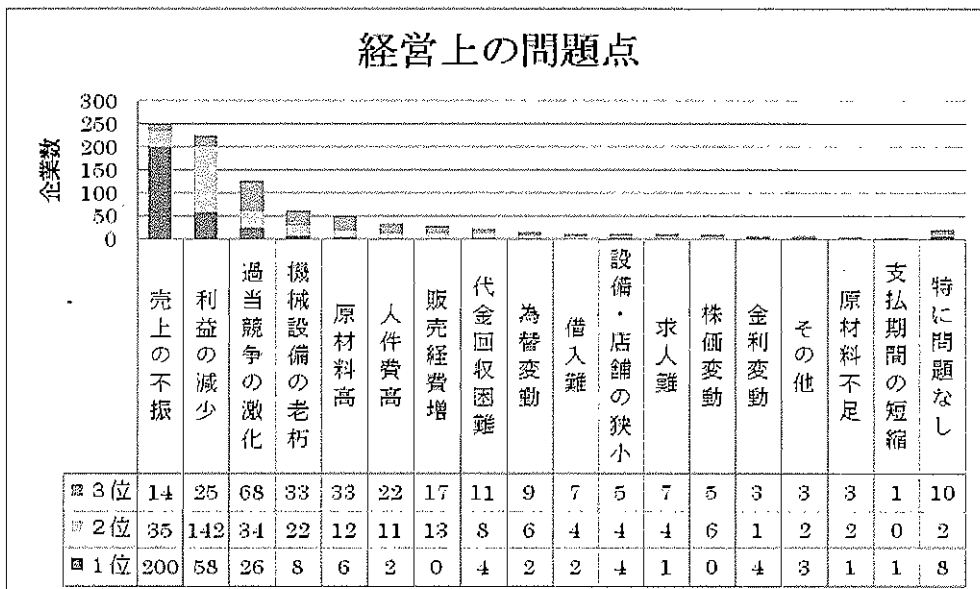


(5) 前期と比べた今期の借り入れ金利は、「上昇」13.4% (38社)、「不変」72.9% (207社)、「低下」13.7% (39社) となっています。

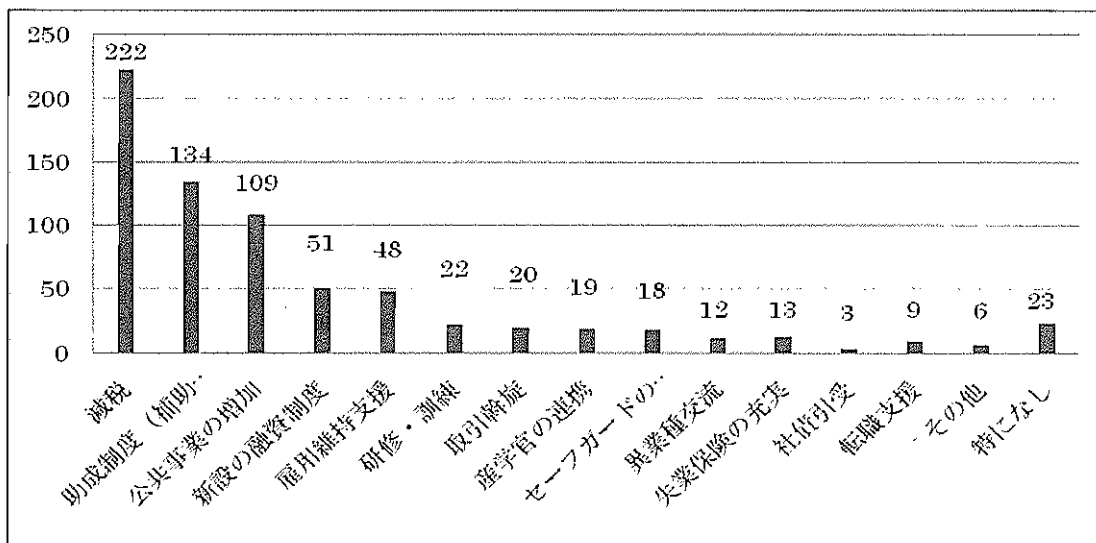


1.1. 経営上の問題

(1) 経営上の問題点(上位3項目選択)としては「売上の不振」249社、「利益の減少」225社、「過当競争の激化」128社の順となっています。



(2) 効果があると考えられる公共機関が行う企業支援策としては、「減税」65.7% (222社)、「助成制度(補助金等)」39.7% (134社)、「公共事業の増加」32.3% (109社)、「新設の融資制度」15.1% (51社)の順となっています。(複数回答可)



(3) 公共機関が行う企業支援策のうち、特に緊急を要するものとしては、「減税」57.1% (170社)、「公共事業の増加」29.2% (87社)、「助成制度(補助金等)」21.9% (65社)、「新設の融資制度」9.8% (29社)の順となっています。(複数回答可)

